

シンポジウム「視環境評価の現状と課題」

主催：日本建築学会 環境工学委員会 光環境運営委員会 視環境設計法小委員会
日時：2021年3月1日（月）14:00～16:50
会場：オンライン（Zoom）

視環境設計法小委員会では、時代の実情やニーズに対応した視環境設計法の構築を目指し、「明視評価WG」、「グレア評価WG」、「明るさ評価WG」の3つのWGにおいて個々の課題を検討してきた。本シンポジウムでは、まず明視評価WGから明視性を広義に捉える試みの現状について報告し、グレア評価WGから対象別の評価方法の現状について紹介する。

また、明るさ評価WGは2016年度と2018年度に開催したシンポジウムにおいて、空間の明るさに関する様々な指標の適用範囲やその特性、「明るさ」概念を整理する新たな考え方や空間の明るさ予測に対する平均輝度の適用可能範囲と限界について議論を行った。本シンポジウムでは実際のオフィス空間へ適用する上で重要となる窓のある空間における明るさ評価に対する検討結果を報告すると共に、今後照明設計ガイドラインや照明基準への反映を目指す上での枠組み・方向性について議論を行う。

実際の設計に関わる方、研究者、将来の照明分野を担う学生を始め、多くの方々にぜひご参加頂き、今後の照明設計手法の向上を目指して実りある議論を行いたい。

[プログラム]

14:00-14:05	趣旨説明 ＜明視評価WG＞	奥田 紫乃（同志社女子大学）
14:05-14:25	広義に捉えた明視のあり方 ＜グレア評価WG＞	原 直也（関西大学）
14:25-14:55	人工照明のグレア評価 昼光のグレア評価 視覚メカニズムに基づくグレア評価	明石 行生（福井大学） 望月 悦子（千葉工業大学） 原 直也（関西大学）
14:55-15:05	質疑応答	
15:05-15:15	休憩 ＜明るさ評価WG＞	
15:15-15:55	窓のある空間における明るさ評価	山口 秀樹（国土技術政策総合研究所）
15:55-16:15	次年度以降の方針	加藤 未佳（日本大学）
16:15-16:45	質疑応答&討論	司会：吉澤 望（東京理科大学）
16:45-16:50	閉会挨拶	吉澤 望（前掲）

参加費：日本建築学会会員 1,200 円、会員外 1,500 円、学生 1,000 円（PDF 版資料含む）

定員：50 名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=637483> よりお申し込みください
事前クレジット決済のみ（領収書は申込み締切後に申し込み時にご指定の配送先に郵送いたします）
申込み締切 2 月 22 日（月）

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬
TEL03-3456-2051 E-mail : ichinose@aij.or.jp

オンライン参加にあたっての注意事項

- ★会員の方はお申込み時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方はお申込み時に入力したメールアドレス宛に、開催数日前にZoomの参加用URLをお送りします
- ①視聴にはPCやタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担となります。
- ②受信映像や講演資料の保存（画面キャプチャ、カメラ撮影等）、録音、再配布は禁止です。
- ③参加用URL等をシェアすることは固くお断りいたします。各人でお申し込みください。
- ④録画配信ではございませんので、開催後の視聴はできません。
- ⑤Zoomの使い方・動作環境についてのご質問にはお答えできません。Zoomのアプリケーションをご利用の場合は、最新版への更新をお願いします。Zoomヘルプセンター（<https://support.zoom.us/hc/ja>）をご参照ください。
- ⑥参加者の環境やそのときの回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。その場合は本会では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。